



ひまわり

議会だより

No.24

2016.1.15

発行編集：日之影町議会編集委員会

定例議会一般質問 (高巣野小学校5・6年生と一般傍聴者)

- 議長新年挨拶・条例改正等 P2
- 平成27年度一般会計・特別会計補正予算 P3
- 一般質問・意見採択 P4~6
- 議会のおどき・議会への要望 P7
- 国会議員への要望 P8



議長挨拶

杉本道生



新年明けましておめでとうございます。町民の皆様におかれましては、穏やかな新春をお迎えることとお慶び申し上げます。

さて、昨年は全国津々浦々「地方創生」の大合唱でありましたが、特にT.P.P大筋合意という、極めて重大な政治決着がなされました。やっぱりという不信感はありませんが、今後は本町のような中山間地の農業が将来的に継続できる、より効果的な法整備を強く求めなければなりません。また、町議会では改選後初めて全議員により、本町が抱える喫緊の課題である、有害獣対策・農林業振興対策・中央道整備促進等について、関係省庁・本県選出国會議員に要望活動を行いました。何らかの形でその成果は返ってくるものと、確信を致しております。

一方、今町村議会を取り巻く状況・環境は全国一様であります。議員のなりの手が無い、無投票が多い・議会の活動が見えにくい等々、議会の存在価値が問われる状況にあります。その一因は、我々議会にもあると自覚を致しております。

そこで、新年度の議会活動の一環として「町民の皆様との対話・意見交換」を大きなテーマとして各地域、各種団体等の皆様に声を掛けさせていただきたいと考えております。そのことが議会の活性化・諸政策の提案、延いては町の活性化に繋がればとの思いを巡らしております。

併せて、住民と行政との橋渡しをすべき議員は大きな声・小さな声・声なき声・ため息全ての声を把握して、これを代表し住民の心情に寄り添い、信頼される議会に変革出来るよう、議員一同努力する覚悟でありますので、どうか今後とも町民の皆様のご理解と御指導を承りますようお願い申し上げます。

結びに、本年の無事故・無災害、更に皆様の御健勝を御祈念申し上げます。新年のご挨拶とさせていただきます。

12月定例議会

第4回定例会は、12月4日に開会し、議案10件・発議1件・議長発議2件は原案のとおり可決した。

一般質問には4名が登壇し、町長・教育長に質問、12月11日に閉会した。

条例改正等（4件）

■日之影町行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用に関する条例の制定

○平成28年1月からマイナンバーの利用が開始される事になり、特定個人情報等を事務の間でやり取りする場合について、特定個人情報の利用に関する規定を整備する必要がある為。

■日之影町税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

○平成27年9月30日付け総務省令第85号において「納付書及び納入書には個人番号及び法人番号は原則記載しない」と変更されたことによるもの。

■日之影町税条例の一部を改正する条例

○納税者の負担の軽減を図ると共に納税の履行を確保する観点から、国税の猶予制度の見直しが行われたことを受け、国税の基準に合わせ、本町税条例の一部改正を行うもの。

■日之影町奨学資金貸付条例の一部を改正する条例

○「奨学資金制度の拡充」を図る具体的施策のひとつとして、入学一時金の貸付制度、定住の為一年以上居住した場合、居住する期間の返済金については申請により全額免除する制度の新設等、より「使いやすい」制度の改正になっており、詳しくは教育委員会にお尋ねください。

■平成27年度 一般会計補正予算(第3号)■

歳入歳出補正 7,942万円追加
補正後の総額 50億8,931万円

今回の補正は、戸川岳分収林公有林化事業、有害鳥獣捕獲促進事業及び災害復旧事業の増に伴う補正が主なものです。

歳入の主なもの

地方消費税交付金	1,200万円追加
地方交付税 (普通交付税)	2,800万円追加
国庫支出金 (保有緊急確保事業及び社会資本整備総合交付金事業等)	△ 513万円減額
県支出金 (「わが町の水とくらしを守る」いきいき森林づくり事業等)	2,084万円追加
諸収入 (後期高齢者医療広域連合派遣職員負担金等)	1,233万円追加
町債 (災害復旧債等)	1,000万円追加

歳出の主なもの

総務費 (戸川岳分収林公有林化に伴う立木購入費等)	2,309万円追加
民生費 (保育士処遇改善臨時特例事業補助金等)	△ 580万円減額
衛生費 (健康管理システム使用料等)	△ 120万円減額
農林水産業費 (有害鳥獣捕獲促進事業補助金等)	3,272万円追加
土木費 (道路維持事業等)	257万円追加
消防費 (災害対策人件費等)	133万円追加
教育費 (印刷製本費等)	255万円追加
災害復旧費 (農林水産施設災害復旧事業等)	2,624万円追加
公債費 (元金及び利子)	△ 341万円減額
予備費	104万円追加



戸川岳分収林の現地調査



有害鳥獣捕獲現況

■平成27年度 特別会計補正予算(第3号)■

会計名	歳入歳出補正額	補正後の額
(国民健康保険事業特別会計) (保険給付金の増額及び介護納付金の確定に伴う補正が主なもの)	1,187万円	9億1,956万円
(簡易水道事業特別会計) (繰入金と維持修繕費の補正が主なもの)	△ 38万円	2億6,457万円
(介護保険特別会計) (共済組合負担金の変更と事業費の調整に伴う補正が主なもの)	△ 15万円	6億7,231万円
(後期高齢者医療特別会計) (後期高齢者医療保険基盤安定負担金の確定に伴う補正が主なもの)	164万円	5,815万円

「人口減少対策と所得向上の対策について」

飯 干 静 香

問 実効性の高い総合戦略の策定が望まれるが、「地域創生総合戦略策定」に、町民の生の声や意見が包括されているか伺う。

町長 アンケート調査結果を踏まえ策定したものを基本に、町内住民団体代表の方々との審議・関連する組織や団体等の意見を参考に協議をしていることから、町民の声や意見を勘案して策定している。

問 地元での雇用の場を創出する取り組みが重要、そこで農林業を中核とした町内企業を模索されているが、その構想とはどのようなものか伺う。

町長 「地域資源を生かした産業の振興」として、農林業の担い手の育成・加工品を含めた

販売網を確立・安定した経営と雇用の場の確保・加工グループによる商品化、6次産業の推進にも努めている。

また、現在、町内の「柚子・栗」製造事業者による企業拡大発展による雇用拡大も考えている。

問 働く場のない本町では、町行政が何とかして働く場を創設し、一人でも多くの町民が働いて収入を得て暮らせるよう、「宮崎部品工場跡地」を活用した農林業を中核とした働く場の創設は考えられないか伺う。

町長 特産品開発協議会・町内加工グループ・おかげさんマルシェ等との意見交換会を行い研究しているところである。企業誘致活動も進めている。多様な形での活用に向けて、引き続き研究していく。



「持続可能な林業の振興について」

河 野 學

問 伐採跡地の未植林地が増えている。その対策について伺う。

町長 国の森林整備事業を補完する町単独事業について、

内容・補助率等について検証を行い、林家負担の軽減について、今後検討していく考えである。また、町内苗木生産者と情報交換を行い、

優良苗木の確保に努めていくとともに、施設を活用したコンテナ苗の育成、産学官一体となった育成開発について検討しているところである。

問 安定した生活・子育ての出来る林業従事者の確保について伺う。

町長 作業員雇用への支援や、新規雇用者の募集等を行うことで、安定した従事者の確保が図られ、循環型林業の構築、更には若者の定住促進につなげていくことが必要であるので、県との連携も含めて取り組んでいく事が必要と考えている。

問 バイオマス燃料の仮置場、また日之影でも市が開催できる貯木場の造成について伺う。

町長 新たな土場の整備については、効率の良い立地条件を考慮する必要があると思われる。また将来、市の開催まで視野に入れると、管理運営を県森連が行うことが望ましいと思うので、今後とも県森連・森林組合等と協議を進めていく考えである。

「農業法人化組織設立に向けて」

一水輝明

問 本町が進めている農業法人化組織設立に向けた検討委員会の進捗状況について伺う。

町長 農業従事者の高齢化や、担い手不足による耕作放棄地・放任果樹園の増加、更には農村集落多面的機能の衰退など、「人」「農地」の問題が年々深刻さを増している。このような状況を踏まえ、昨年11月に県・町・JA

・土地改良・農業者等で検討委員会を立ち上げ、検討課題と先例地での事例を踏まえ、法人定数の骨格等を作成し、運営に係るシミュレーション等について検討を進めている。

問 法人が行う事業内容と、設立時期について伺う。

町長 農林産物の生産・加工・販売や、農作業の受託、農業担い手の育成など、幅広い役割を果たしていける計画を協議している。設立時期については、平成28年度上半期を目標にしている。

「TPP本町農業は守れるか」

問 国はTPPの大筋合意を受けた国内対策の提言を取りまとめた。本町農業を守るための施

策について町長の見解を伺う。

町長 国では11月25日に「守り」「攻め」を二本柱とする、総合的なTPP関係政策大綱が決定された。

本年度の補正予算・来年度の予算に計上されるとのことから、国・県の動きを注視すると共に関係団体と連携し、積極的な活用を図っていく。

問 補助金を含めた、町単独の対策が必要と思うが見解を伺う。

町長 20代・30代の後継者も育っていることから、



新品目のペビーハンズ(町内9戸1畝で栽培)

「地域活性化策について」

甲斐睦彦

問 『日之影町制施行65周年』にあたり、地方創生と絡めた施策の考えはないか伺う。

町長 町制施行65周年記念式典を計画している。式典の開催にあたっては地方創生をテーマとした「講演会」

にする。地方創生と絡めた施策としては、本町の「コ」やキヤッチコピーを作成し、来年度より活用する。

問 東九州道開通に伴う本町におけるスト

ック効果の検証と今後の取り組みについて伺う。

町長 近隣の観光地「道の駅」では、お客様の数が増加した。本町の「道の駅青雲橋」では前年度と比較して減少した。しかし、9月以降は回復基調である。今後の取り組みとしては、「道の駅青雲橋」の認知度を高めるための整備、「森林セラピー事業」との連携に取り組み、基本理念である自然と共生する町づくりを進めていく。

問 現在の『12地区協議会』の活動について伺う。

町長 平成25年度からは、町単独の補助金となり全体枠で事業規模も縮小され、その取り組みに温度差が生じているのが現状である。しかしながら、素晴らしい自治公民館活動をしているところも多数あり、地域活動そのものが停滞しているという認識はない。

問 本町における『青年団活動』の現状を伺う。

教育長 活動としては、「ひのかげ渓谷まつり」においての餅つき販売、「夏休み子どもふれあい事業」「幼児のいる家庭にクリスマスプレゼントの配達」を行っている。課題としては、魅力ある青年団活動の構築が必要であると認識している。

今後は、そのエネルギーを郷土の振興に発揮できる環境を整え、組織の強化に努める。

問 過去の一般質問に對しての検証と履行状況について伺う。

町長 一般質問を含む議会等で議論、提案された施策等に関しては、検証を行いながら、可能な限り政策に取り入れて、「長期総合計画」「地域創生総合戦略策定」に反映させ、行財政運営を行って行く。

今回の「奨学資金貸付条例の一部改正」も、過去の議会において討論されたことである。



昭和初期の日之影町中心部

意見書「採択」

■ 森林吸収源対策の財源確保を求める意見書

1. 森林整備や木材利用などの森林吸収源対策は、地球温暖化対策の重要な柱であると共、地方創生にも大きく貢献することから、安定した財源の確保の充実・強化の為の制度を速やかに構築すること。
2. 上記の安定した財源が確保されるまでの間の財政面での対応として、28年度予算及び27年度補正予算において、森林整備・木材利用等の推進のための予算を十分に確保すること。
3. 森林経営計画を地域の実情に合った間伐制度とすること。
最低限の作業道災害復旧の対応や、森林整備地域活動交付金事業の幅広い拡充など、条件不利地の実情にも応える制度運用とすること。

「第5回」 議員対談集

甲斐 徳仁議員

& 日之影町立病院 上田院長

甲斐議員

西臼杵広域消防の4月運用開始を受けて、救急患者の減少影響は病院運営には影響ができましたか。

上田 院長

広域消防の運用開始によって救急患者は特に減ってはいませんが、影響は無いと思います。

甲斐議員

病院を維持していくうえで、患者の確保は言うまでも無いが、他に何が必要でしょうか？

上田 院長

医師の確保・看護師・その他医療職など人材の確保が特に重要ですが、今後は予断を許さないというよりは、不可能に近くなっていると考えられます。

甲斐議員

医師の確保は地方の地域医療を進める上には最重要課題であります。この偏在をどう分析されま
すか？

上田 院長

医師が自分自身の生活の場を考
える時、へき地ではなく、利便性の
ある地域を選ぶのはどうしても当
然のことであると考えます。

甲斐議員

国は28年度から、診療報酬の引
き下げや病院改革プラン策定を
計画している。院長の所見は？

上田 院長

診療報酬は国が定めるものであ
り、私達が言葉をはさむ余地はあ
りませんが、当然従前に比べて、病
院の経営は赤字に傾いていくこと
は予想できます。本町の病院改革
プランは、町民の代表たる委員が
将来をみて作成するものであり、
改革プランが作成されれば、その
決定に私は従います。

甲斐議員

広域行政運営に伴う3町病院と
しての運営・連携は選択肢の一つ
でもあると考えるが課題は大き
いと思われる。それに対してのコ
メントをいただきたい。

上田 院長

郡内3病院が対等という訳にも
いかず、規模・機能の分散が必要に
なるでしょう。

甲斐議員

最後に、町民の方々や行政に対
してご意見があれば、今後の抱負
も含めてお聞かせ下さい。

上田 院長

病院や医師に対して自分の要求
を発言するだけでなく、現在のよ
うに救急車の体制が整い、延岡あ
たりの医療施設も増加している
ことを考えると、病院の存続が必
要なのかどうかについても、真剣
に考えていただきたいと思いま
す。

甲斐 徳仁議員

& 日之影町立病院 花田看護師長



甲斐議員

病院を維持していく上で、スタッフの対応は欠かせないものであるが、現在の看護師の接遇状況をお聞かせ下さい。

花田 師長

現在まで平成22年度から繰り返し「接遇研修」は実施しているが、今年度は7月8日・9日に全職員を対象とした「接遇研修」と、10月20日には同じく全職員を対象に「窓口改善事業研修会」を実施して、更なる接遇改善に向けた努力は続けております。

甲斐議員

診察から投薬までの待ち時間に対するクレーム等はありませんか？

花田 師長

外来から医事係へ、医事係から薬局への流れについて、できる限り迅速に薬が渡せるように努力はしているつもりですが、なかにはクレームを寄せてくる患者様もいらつしやいます。前になられた患者様の投薬が多かつたり、複雑だつたりして、次の患者様の待ち時間が長くなつたりした時には、直接患者様にお薬を手渡すときにお断りしながら、その都度説明をしております。

甲斐議員

病院スタッフ及び看護師間の連携は、うまくとれているでしょうか？

花田 師長

毎日の申し送りやカンファレンス、毎月実施される「院内感染対策委員会」「医療安全対策委員会」褥瘡対策委員会」「病棟カンファレンス」「院内会議」等の各種会議を通じて、課題の調整をして、皆に周知

甲斐議員

しております。また、個別に話し合いをしたり、コミュニケーションをとって、全体的には連携はとれていると思っております。

花田 師長

健康の維持は、食べる・動く・話す・笑うなど、バランス良く一日を過ごすことにあると思います。しかし、病気になるるときは、少しでもお力になればと、病院スタッフ一同思いを一つにして頑張っておりますので、今後ともよろしくお願ひします。

本日はお忙しい中に

時間を取っていただき

ありがとうございます。



議会のうごき

(平成27年10月～平成28年1月)

10月16日(金)	県町村議会議長会臨時 総会・議員大会 (三股町) 県畜産共進会開会式・ 歓迎レセプション (高千穂)	10日(火)	全国農業担い手サミット トインみやざき(高千穂)	11日(金)	平成27年第4回定例会 本会議 (閉会)
20日(火)	森林・林業・林産業活 性化九州大会 (鹿児島市・21日)	11日(水)	郡議長会視察研修 (東京・長野県・13日)	15日(火)	議会報編集委員会 議会報編集委員会 祖母領山周辺地域のユ ネスコエコパーク登録 に向けた取り組みに関 する説明会 (福祉館 高千穂郷・椎葉山世界 農業遺産認定セミナー (高千穂)
23日(金)	浜谷まつり実行委員会 町小中学校音楽祭・町 小中学校作品展 (25日)	16日(月)	町村議会議長全国大会 (東京)	20日(日)	宮崎県中山間盛り上げ 隊感謝のつどい (歌舞伎の館 (高千穂)
24日(土)	ひのかけ浜谷まつり 2015 (25日)	17日(火)	地方議会活性化シンポ ジウム (東京)	24日(木)	県自治会館管理組合議 会定例会 (宮崎)
25日(日)	公民館・職域対抗玉入 れ選手権大会 (宮水小体育館)	19日(木)	国への要望活動 (東京・18日)	28日(月)	仕事納め式 成人式 新春賀詞交歓会 消防出初め式 新年交通安全祈願祭 (高千穂)
26日(月)	西臼杵郡議員大会 (高千穂)	22日(日)	幹部議員研修会(宮崎)	5日(火)	消防出初め式
28日(水)	九州中央自動車道建設 促進沿線議会協議会提 言活動 (福岡・東京・30日)	26日(木)	日之影町福祉まつり 議会運営委員会・全員 協議会	6日(水)	新年交通安全祈願祭 (高千穂)
29日(木)	町村監査委員ブロック 別研修会 (椎葉村)	29日(日)	反省会 (高千穂)	11日(月)	市町村対抗駅伝競走 大会 (宮崎)
11月1日(日)	郡民総スポーツ祭総合 開会式 (高千穂)	30日(月)	サンルーム創立20周年 記念祝賀会 (延岡)	14日(木)	日之影字目線整備促進 に関する要望 (宮崎)
4日(水)	議会運営委員会・全員 協議会	12月1日(火)	議会広報研修会(宮崎)		
9日(月)	北部広域行政事務組合 議会定例会 (延岡)	8日(火)	市町村対抗駅伝選手 団結団式 (日之影中 本会議(開会) 議会運営委員会・全員 協議会 議会報編集委員会 平成27年第4回定例会 本会議 (一般質問) 議会報編集委員会		



郡議員大会開会式(10月26日)



森林・林業・林産業活性化九州大会(10月20日)

議会への要望

- ♣宮崎県建築協会
建築工事発注に関する要望
- ♣森林・林業・林産業活性化促進地方議員連盟
森林吸収源対策の財源確保を求める意見書九州地方森林労連宮崎北部森林管理署分会
森林吸収源対策にかかる安定財源確保及び山村振興対策の具体化を求める意見書提出を求める陳情
- ♣青年健全育成宮崎県民の会
「青少年健全育成基本法の制定」を求める意見書提出に関する陳情
- ♣西臼杵森林組合
西臼杵森林組合要望及び林業振興対策資金の借入れについての要望
- ♣日之影町商工会
商工業の振興及び地域経済の活性化に関する要望
- ♣宮崎県社会保障推進協議会
介護報酬の再改正を求める意見書の提出を求める陳情

議会にご案内を頂き
ありがとうございました。

- ・ 椎谷地区農林フェスタ
- ・ 見立溪谷紅葉まつり
- ・ 奥神社秋祭り
- ・ 新畑秋の大祭
- ・ 松の木地区秋の収穫祭
- ・ 一の水神社大祭
- ・ 椎谷秋葉神社大祭
- ・ 楠原神社秋の大祭
- ・ 高巢野天満宮祭
- ・ 阿下熊野大社祭
- ・ 大菅神社大祭
- ・ 松の内神社大祭
- ・ 糸平神社大祭

議会傍聴のご案内
 次回の定例会は3月です。議会に対するご意見・ご要望等お聞かせ下さい。皆様の傍聴を心よりお待ちしております。
 【問い合わせ】議会事務局
 TEL 87-3908



国会議員への要望活動

日之影町議会では、11月17日、18日全議員で上京し、関係省庁に要望活動を行いました。

■関係省庁

- ・ 国土交通省道路局
青木次長
- ・ 総務省
松下副大臣

・ 林野庁

- 牧元林政部長
- 本郷森林整備部長

・ 農林水産省

- 秋葉鳥獣対策室長
- 江藤拓議員・長峯誠議員

■要望事項は左記の4点

- 1、「九州中央自動車道」の早期整備
- 2、森林・林業・木材産業の振興対策
- 3、有害鳥獣の被害防止対策の強化
- 4、過疎地支援策の振興と継続・規制の緩和



編集後記

町民の皆様には、謹んで新春のお慶びを申し上げます。私たち議会広報編集委員も新体制となり一年を迎えました。本年も議会広報委員一同、より見やすく、よりわかりやすく、より楽しんでいただけるよう、新しいアイデアも取り入れてまいりますので、よろしくお願ひします。

さて、昨年末は、全議員で上京しこれからの日之影の要望活動も行ってきました。また今年も、町民の皆様との対話集も計画しておりますので、皆さんと一緒に日之影のことを考えて、たくさん話が聴かれたら幸いです。これから寒さも厳しくなります。身体には十分気をつけられ、今年一年幸多い年になりますよう御祈念致します。

発行責任者

議長 杉本道生

- 議会報編集委員
- 委員長 飯干静香
- 副委員長 甲斐睦彦
- 委員 河野 學
- 委員 一水輝明